

# 北九州市立大学の3つのポリシー

## 北九州市立大学の設置趣旨

公立大学法人北九州市立大学は、産業技術の蓄積、アジアとの交流の歴史及び環境問題への取組といった北九州地域の特性を活かし、

1. 豊かな未来に向けた開拓精神に溢れる人材の育成 及び
2. 地域に立脚した高度で国際的な学術研究拠点の形成 を図り、もって
3. 地域の産業、文化及び社会の発展並びに魅力の創出に寄与する とともに、
4. アジアをはじめとする世界の人類及び社会の発展に貢献する ことを目指しています。

## 教育目的

北九州市立大学は、時代を切り拓く知を創造し、人間性豊かで有能な人材を育成することによって、地域の産業、文化及び社会の発展並びにアジアをはじめとする国際社会の発展に貢献することを目的とする。

## 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

北九州市立大学は、次の方針に基づき、卒業を認定し学位を授与します。

豊かな「知識」  
DP1

- 21世紀の市民として「地域」「環境」「世界(地球)」に重点をおいた豊かな教養と自らの専門分野について体系的に理解している。

知識を活用できる「技能」  
DP2

- 英語などについての日常的な語学運用能力、情報リテラシーなど知的スキルを身につけている。

次代を切り開く「思考・判断・表現力」  
DP3

- 課題を発見し問題解決に至る論理的な思考・判断・表現力を身につけている。

組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」  
DP4

- 多様な他者と協働し組織や社会の活動を促進していくことができる。

社会で生きる「自律的行動力」  
DP5

- キャリア意識を持ち、学び続ける意欲と公共性・倫理観のもとで行動できる自律性を持っている。

## 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

北九州市立大学は、卒業認定・学位授与方針に掲げる人材を養成するため、次の方針に基づき、教育課程を編成・実施します。

### 1. 教育課程の編成

- 卒業認定・学位授与方針に掲げる知識、能力等を身につけることができるよう、大学での学びの入門から卒業後の生き方までを教育する基礎教育科目及び学生自ら専攻した学問分野を基礎から教育する専門教育科目で教育課程を構成する。
- カリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリーを定めるとともに、授業科目のナンバリングにより、体系的・順次性のある教育課程を編成する。

### 2. 教育の内容・方法

- 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行う。
- 学生の主体的な学びを促進するため、能動的学習(アクティブ・ラーニング)を効果的な授業科目で実施する。
- 予習・復習等、授業時間外のさまざまな機会を通じ、学生の主体的で活発な勉学意欲を促進する。
- 単位の実質化を図るため、履修登録単位数に上限設定を行う。

### 3. 学修成果の評価

- 授業科目の成績評価は、試験、研究内容等の審査によって厳格に行い、合格した者に所定の単位を与え、取得した単位数は、卒業及び3年次進級に活用する。
- 入学後、学生が履修した全ての授業科目の成績評価として累積GPA(Grade Point Average)を算出し、これにより学修成果を把握する。
- 学生による授業評価、学修行動調査などを実施し、学修成果の測定・評価を行い教育課程の改善に努める(学修成果の測定・評価・改善方法の詳細は別に定める)。

## 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

北九州市立大学は、次のような人を求めます。

### 求める学生像

北九州市立大学は、強い意志と希望を持って、地域と共に発展し、世界(地球)の持続可能な社会、豊かな未来に向かって、「知の創造」を目指します。このような本学の目標に共感し、学修に臨みたいと考えるチャレンジ精神に溢れた人を求めます。

### 入学者選抜の基本方針

本学の卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえ、学力の3要素を多面的、総合的に評価するため、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜など、多様な入学試験を実施します。

		求める能力
学力の3要素	知識・技能	学修を始めるに当たって、必要な知識と技能を備えている。
	思考力・判断力・表現力等の能力	課題を深く思考して、合理的に判断し、自分の考えを分かりやすく的確に表現することができる。
	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	主体的に、多様な人々とコミュニケーションを図り、他者の考えを理解できる。 他者との協働を通して、多様な考えを吸収し、自分を高めようとする意欲を持っている。